

平成29年8月31日(木)

## 兵吉屋がアワビ稚貝放流事業に寄付

相差町で海女小屋体験施設「はちまんかまど」を経営する兵吉屋さん（野村一弘社長）が市長室を訪れ、アワビの種苗放流のために寄付をしていただきました。



兵吉屋さんは、相差町で現役の海女さん（現在22名）と触れ合いながら新鮮な魚介類を提供する海女小屋「はちまんかまど」などを運営されており、インバウンドにより多くの外国人を受け入れるなど海女漁業の振興、海女文化の情報発信にも広く貢献されています。昨年に引き続き、アワビの稚貝放流事業に役立てるため、売り上げの一部30万円を鳥羽市にご寄付いただくことになりました。寄付にあたって野村一弘社長（写真左）は「海女さんたちの活躍もあって集客も伸びている。海女さんに利益を還元したいという思いで、アワビの稚貝放流事業に生かしていただければ」と語っていただきました。

中村市長からは「鳥羽の観光に大きく寄与されていることに感謝し、今までの取り組みでも色々なアイデアを見せていただいている中で、地域の観光の核として活躍していただいていることに感謝しています。志の方、有効活用させていただきます」とお礼を述べました。